

「やまぐち産業イノベーション戦略」について

1 現行戦略の概要

(1) 基本目標

山口県の高度技術、産業集積を活かした「戦略的イノベーション（技術/生産/経営革新）」の加速的な展開を図り、重点成長分野の発展・拡大や、生産性、付加価値の向上による県経済の持続的成長を目指す。

【主な視点】

- ① 本県の高度技術、産業集積を基盤とした「オープンイノベーション」の推進
- ② 人口減少、少子高齢化等の本県特性も踏まえた、高い生産性・付加価値を有する産業モデルの構築

(2) 期間

平成30年度から令和2年度までの3年間（2018-2020年度）

(3) 重点成長分野の推進

国の成長戦略や、本県の産業特性・強み、成長に向けたポテンシャル等を踏まえ、今後伸ばしていくべき成長分野を明確化し、その発展・拡大を牽引する10のプロジェクトを推進

「9つの重点成長分野」

- ① 基礎素材型産業
 - ② 輸送用機械関連産業
 - ③ 医療関連産業
 - ④ 環境・エネルギー関連産業
 - ⑤ 航空機・宇宙産業
 - ⑥ 水素エネルギー関連産業
 - ⑦ バイオ関連産業
 - ⑧ ヘルスケア関連産業
 - ⑨ IoT等関連分野
- [各分野を支える高度ものづくり産業についても重点支援]

「10の産業戦略プロジェクト」

産業戦略プロジェクト	主な取組
1 瀬戸内産業競争力・生産性強化プロジェクト	・港湾の機能強化、工業用水の安定供給体制の強化、幹線道路網の整備等
2 自動車新時代に対応したイノベーション創出プロジェクト	・企業間連携の仕組みづくり、イノベーション創出支援
3 大規模産業用地活用促進プロジェクト	・地元市町や企業等との連携・推進体制の構築等
4 地域中核企業創出・成長支援プロジェクト	・地域中核企業創出・支援カンファレンスチームによる総合サポート
5 地域中核企業等立地促進プロジェクト	・重点成長分野企業の誘致促進
6 高度産業人材確保・活用支援プロジェクト	・R&Dラボ、OB等人材バンクの推進等
7 産業インフラ輸出促進プロジェクト	・ベトナムキエンザン省政府との連携による水産バリューチェーン構築
8 地域産業IoT等導入促進プロジェクト	・IoTビジネス創出支援拠点の形成 ・通信キャリアとの連携による実証フィールド提供や先導的取組支援等
9 スタートアップ企業立地促進・育成プロジェクト	・スタートアップ企業の立地・育成促進
10 新山口駅北地区拠点施設整備支援プロジェクト	・企業・人材支援機能に係る連携 ・新産業の創出促進に係る連携等

2 現行戦略の進捗等（別紙参照）

企業、金融機関、産業支援機関、国等との連携の下、戦略に掲げる10の産業戦略プロジェクトの具現化を進め、概ね順調に進捗

《産業戦略プロジェクトの主な進捗・成果（概要）》

産業戦略プロジェクトの進捗・成果	
1 瀬戸内産業競争力・生産性強化プロジェクト	○概ね目標通り。港湾、工業用水、道路等関連する産業インフラ整備が着実に進捗 [指標]・石炭共同輸送実施回数：22回/30回(R2.3) ・工業用水道管路更新整備延長：3.2km/3.9km(R2.3) ・国道・県道の整備完了延長：30.8km/30km(R2.3) ・緩和する主要渋滞箇所数：2/3箇所(R2.3) ・生産性向上等に資する大規模連携事業の実現：各地域において連携事業等を実施
2 自動車新時代に対応したイノベーション創出プロジェクト	○概ね目標通り。県自動車産業イノベーション推進会議を中心に企業間連携の仕組みの構築と共同研究開発に向けた技術的検討が進展 [指標]・産学公金連携組織への参画企業数：74社/100社(R2.3)
3 大規模産業用地活用促進プロジェクト	○概ね目標通り。宇部地域においては大規模産業用地に係る進出協定を企業、県、市で締結 [指標]・企業誘致件数：55件/75件(R元.12)
4 地域中核企業創出・成長支援プロジェクト	○目標を上回る。地域金融機関等との連携の下、県内中堅・中小企業へのサポートを実施 [指標]・地域経済牽引事業計画承認件数：50件/45件(R2.3) ・地域経済牽引事業による付加価値増加額：98.1億円/115億円(R2.3)
5 地域中核企業等立地促進プロジェクト	○目標を達成。重点成長分野の企業への集中的な企業訪問を継続 [指標]・企業誘致件数(重点成長分野)：28件/20件(R元.12)
6 高度産業人材確保・活用支援プロジェクト	○目標を達成。R&Dラボ等において、県内大手企業と中小企業との技術交流等が進展 [指標]・研究開発・人材活用システムへの参加企業数：118社/50社(R2.3) ・奨学金補助制度を活用した県内就業者数：20人/20人(R2.3)
7 産業インフラ輸出促進プロジェクト	○概ね目標通り。JICA、県内企業JV、キエンザン省連携による実証事業をベトナムで開始 [指標]・JICAなど国等の支援メニューを活用した事業件数：3件/5件(R2.3)
8 地域産業IoT等導入促進プロジェクト	○目標を下回るが、研究開発補助や研究会活動等により取組は着実に進捗 [指標]・先導的プロジェクトによるIoT等導入件数：1/5件(R2.3) ・中小企業のIoT導入率：13.9%/16.0%(R元)
9 スタートアップ企業立地促進・育成プロジェクト	○目標を大幅に下回る。金融機関との連携により企業の発掘・誘致活動を継続 [指標]・スタートアップ(研究開発型)企業の誘致件数：0/5社以上(R2.3)
10 新山口駅北地区拠点施設整備支援プロジェクト	○概ね目標通り。関連インフラ(アクセス道路、関連施設(県央部多部制定時性高校等)の整備や企業・人材支援機能の強化、「やまぐちヘルスラボ」の開設準備等が着実に進捗 [指標]・産業・交流拠点の形成を実現：産業・交流拠点機能強化に向けた取組は順調に進捗

3 今後の「やまぐち産業イノベーション戦略」について（案）

現行戦略に掲げる本県の産業特性と強み、これまでの取組を基礎に、新型コロナウイルス感染症拡大を契機とした社会変革の動きも踏まえ、新たな産業戦略の指針として改定する。

(1) 基本目標

「基本目標」は維持する。また、新型コロナウイルス感染症拡大を契機とした社会におけるデジタル化の重要性の高まりを踏まえ、「デジタルトランスフォーメーションの加速」を新たな視点に加える。

【基本目標】

山口県の高度技術、産業集積を活かした「戦略的イノベーション（技術/生産/経営革新）」の加速的な展開を図り、重点成長分野の発展・拡大や、生産性、付加価値の向上による県経済の持続的成長を目指す。

【主な視点】

- ①本県の高度技術、産業集積を基盤とした「オープンイノベーション」の推進
- ②人口減少、少子高齢化等の本県特性も踏まえた、高い生産性・付加価値を有する産業モデルの構築
- ③デジタルトランスフォーメーションの加速

(2) 期間

デジタル技術をはじめとする急速な技術革新や市場変化等に対応するため、現行戦略と同様の3年間（令和3年度～令和5年度）に設定

(3) 重点成長分野

現行の「9つの重点成長分野」を引き続き設定。なお、IoT等関連分野は未来技術関連分野とし、近年のデジタル技術の進展に対応

- | | | |
|---------------|------------|--------------|
| ①基礎素材型産業 | ②輸送用機械関連産業 | ③医療関連産業 |
| ④環境・エネルギー関連産業 | ⑤航空機・宇宙産業 | ⑥水素エネルギー関連産業 |
| ⑦バイオ関連産業 | ⑧ヘルスケア関連産業 | ⑨未来技術関連分野 |

(4) 産業戦略プロジェクトの方向性

- 県経済・雇用を牽引する瀬戸内基幹企業群や地域中核企業群の成長・発展に資するプロジェクトの継続的な推進
- 既存プロジェクトの進捗・成果を踏まえた再編・拡充
- デジタルトランスフォーメーションの加速化に向けたプロジェクトの充実・強化

(5) 取組目標（指標）

各プロジェクトの内容に応じた具体的な目標を設定

4 主なスケジュール

令和2年	9月	現行戦略の進捗状況、改定の考え方（方向性）整理
	11月頃	素案
	12月頃	パブリックコメント
令和3年	2月頃	最終案
	3月下旬	改定・公表